

令和8年度 第1回 伊勢原市図書館協議会 会議録

〔開催日時〕 令和8年7月10日（金曜日）午前10時30分から

〔開催場所〕 伊勢原市立図書館会議室

〔出席者〕

（委員）

会 長 朝倉 徹

副会長 古住 有美

委 員 板倉 博子

委 員 高尾 知幸

委 員 北村 雅彦

委 員 大橋 伸子

委 員 川中 寛之

（事務局）

教 育 長 宮村 進一

教育部長 熊澤 信一

図書館・子ども科学館

館長(兼)施設管理係長 秋山 喜則

施設管理係副主幹 塩田 麻美

事業運営係主事 柏木 あずみ

会計年度任用職員 内田 淳子

こども若者支援課

参事(兼)課長 増田 啓介

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者〕 なし

《会議次第》

〈委嘱式〉

1 委嘱状交付

2 委員自己紹介

（協議会）

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議 題

(1) 図書館事業について

① 令和7年度事業報告

② 令和8年度事業計画

(2) 若者のひきこもり支援事業について

(3) その他

①次年度窓口業務委託の更新について

5 閉 会

《議事経過》

1 開 会

(事務局)

過半数（7名中7名）の委員出席による協議会の成立について報告

2 教育長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議 題

(1) 図書館事業について

(事務局)

配布資料に基づき、令和7年度事業実績について説明

①資料：「令和7年度版 伊勢原の図書館」

【質疑応答】

(委 員)

昨年度の向上高校の特集架はよい取り組みだったと思う。今後の展開として、他校にも依頼するなどの計画はあるか。

(事務局)

向上高校には毎年ご協力頂いているが、向上高校に限定した企画では無いため、他の学校との協力も視野に入れていきたい。

(委 員)

中学校図書館なども様々な工夫をされている。そういったものを市立図書館でも実施するとよいので、検討して欲しい。

(委 員)

中高生の読書離れが課題となる中、学校の図書委員は火付け役として適している。図書委員には読書好きが多いので、自分の興味が活かせる機会づくりとしても展開できるとよい。

(委 員)

電子図書館のIDが市内小中学校全校に配布されていることで、図書に触れる機会が増えていると感じる。学校図書館の利用が増加することで、将来的に市の図書館利用にも繋がる。

(委 員)

世間の動向からも、電子図書の拡充に賛成するが、個人的には電子図書よりも漫画本の方が小学生中学生にとって必要なような気がする。近年の子どもには小説はハードルが高い場合もあり、漫画は視聴覚資料としても優れている。

(事務局)

配布資料に基づき、令和8年度事業計画について説明

②資料：「令和8年度図書館事業予定」「日本遺産大山詣り特別展示について」

【質疑応答】

(委 員)

県でも同様の展示を行っているが、地元の伊勢原でもそういった資料が手軽に見られるという理解でよいか。

(事務局)

市の社会教育課文化財係の協力を得て、資料を手配・準備を進めている。

(委 員)

民俗学として、大山詣りという文化を多くの方に知ってもらえると良いと思う。

(委 員)

昨年度、大山観光振興会が浮世絵の冊子を作成したので、借りて展示してはどうか。

(委 員)

大山詣りの落語があったと思う。

(事務局)

当館でもCDブックを所蔵している。そちらも並べる予定である。

(2) 若者のひきこもり支援事業について

(事務局)

配布資料に基づき、事業について説明

①資料：「若者のひきこもり支援事業について」

【質疑応答】

(委 員)

普段、対象者本人が利用するアオハルルームやその保護者が集う午後カフェを利用しているのは、小中学生が多く、18歳以上の利用は少なかったと思うが、今回は普段利用のない方をターゲットにするということか。

(事務局)

現状は、小学生と20代の方が多く、中高生が少ない。このひきこもり支援事業では、小学生から30歳くらいまでを対象とし、現在利用のある人たちを含め、広報誌などを通じて広く声かけを行うことで、受け入れを行っていく予定である。

(委 員)

小学生など、「学校に行けない」ということが負担になっている場合がある。その点、図書館は個人的な利用場所として、人目を気にすることなく通えることから、ひきこもり傾向のある方にも親和性の高い居場所になるのではないか。

(委 員)

本題から少し離れるが、この「ひきこもり」という言葉を使うが、当事者には何か考えがあるのかもしれない。多数派が少数派を決めつけるような表現なので、言葉を変えたほうがいいのではないか。

(委 員)

意見はわかるが、「ひきこもり」という言葉は社会的に一般化しており、この言葉で人々に一つの状況が伝わることを考慮すると、事業名として使用されることも理解できる。周知の際には、事業名とは別に、プラスのメッセージを見出しにするなどしてはいかかがか。

また、不登校対策等の情報が当事者に届かないことが課題にもなっている。今回、様々な手段で広く周知を行うとのことだが、民生委員を通じて地域へ情報を届けてもらう

方法等も検討して欲しい。

(委 員)

今回の事業は、支援を必要としている方に正しい情報が行き渡り、状況改善に繋げるものである。その最初のステップとして、図書館の特性が活用できるのではないかと
思う。

(事務局)

はじめの1歩を踏み出す先として、気軽に図書館に来館してもらいたいと考える。

(3) その他

(事務局)

①次年度窓口業務委託の更新について(口頭による説明)

(事務局)

- ・今年度で現行業者による窓口業務委託が終了する。
- ・令和9年度から3年間の窓口業務委託についてプロポーザルを実施予定。

【質疑応答】

(会 長)

委託業務のプロポーザルなので、事業に対する注文は難しいが、何か意見があるか。

(委 員)

図書館業務では、社会教育施設という立場を重視して、機械的に貸出を行う窓口業務のみではなく、市民との関わりやつながりについても意識してもらいたい。

(委 員)

市内の図書館から離れている地域にブック・モービルで貸出ができると良い。

(委 員)

他図書館ではカフェを導入しているところもある。会話が許されていて、利用者が交流できるスペースを確保するのもよいと思う。

(委 員)

会話スペースとして、子ども科学館との間の情報コーナーを活用してはどうか。

(事務局)

空間の問題など課題があるが、その中でできることを利用者のニーズに合わせて検討していく。

(会 長)

事務局からは、以上で良いか。

(事務局)

以上である。

(会 長)

各委員から、その他についてあるか。

(委 員)

本を選ぶ時用に、店舗等にあるキャスター付きのカゴを導入して欲しい。

(事務局)

本年度、伊勢原中央ロータリークラブからの寄贈品として頂き、現在、レファレンスセンターで貸出を行っている。

(委 員)

伊勢原南公民館の図書室の資料が古くて使用できない。更新がないのなら部屋をフリースペースとして使用しようできるように検討いただきたい。

(事務局)

公民館の図書資料については、図書館と公民館が連携して検討していく。

【午前 1 1 時 4 5 分閉会】